

広島市植物公園 見どころ案内

展示会のご案内

- ◇展示資料館 (7/31~8/31)
特別企画展
「ミツバチと花の“おいしい”関係展」
- ◇展示温室 (同じ会場で開催)
アリと生きる植物展 (7/17~8/1)
世界の食虫植物展 (7/17~8/15)

レンゲショウマ

(キンポウゲ科)

日本固有種。レンゲはハスの花のことで、花姿を逆さのハスの花に見立てています。ショウマは葉がサラシナショウマに似ていることに因みます。

ヒゴタイ

(キク科)

瑠璃(るり)色をした球形の花を咲かせます。野生のものは希少で、絶滅危惧種に指定されています。

キレンゲショウマ

(アジサイ科)

ナスのような蕾で黄色い花を咲かせます。
小説「天涯の花」に登場することで有名です。

ノリウツギ 'ミナヅキ' (アジサイ科)

日本原産でピラミッドアジサイとも呼ばれます。花が全部クリーム色の装飾花となっていますので、豪華です。

ヒマワリの丘

一面に咲き始めたヒマワリが夏を彩ります。植えてあるのは'サンフィニティ'という多花性の品種で、開花期が長く8月いっぱい楽しめます。

オジギソウ (マメ科)

子どもたちに大人気の、さわると葉を閉じる不思議な植物です。南アメリカ原産で、夏にピンク色をした小さいボール状の花を咲かせます。

スイレンの鉢展示

熱帯性スイレンと温帯性スイレンをスイレン鉢にて展示しています。盆頃に向けて約80品種まで増やして行く予定です。

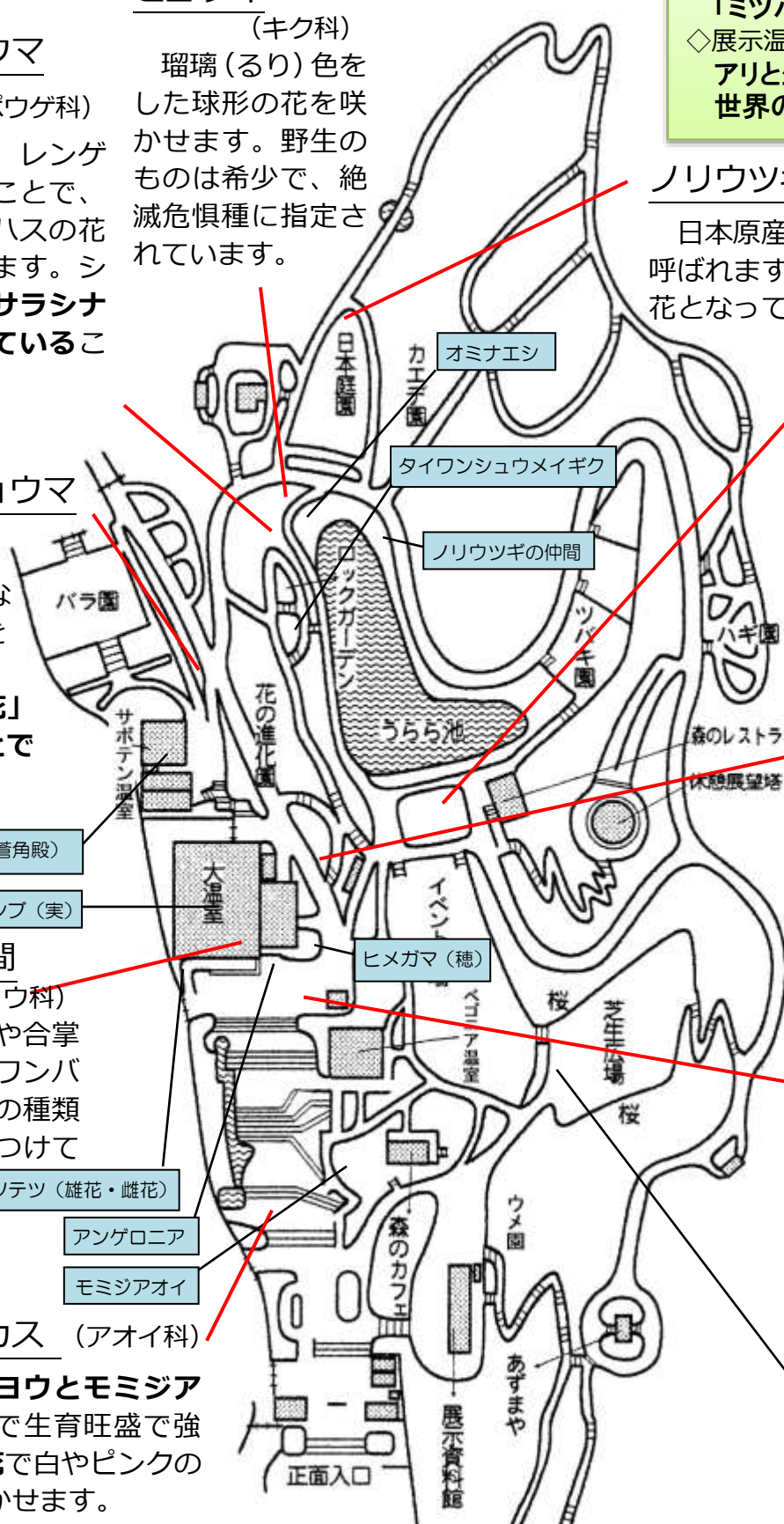
バナナの仲間

(バショウ科)

野生バナナや合掌バナナ、台湾バナナなど多くの種類が一斉に実をつけています。

タイタンビカス (アオイ科)

アメリカフヨウとモミジアオイの交配種で生育旺盛で強健です。一日花で白やピンクの花を次々に咲かせます。



ムラサキナツフジ
アメリカノウゼンカズラ